

法雲寺報

法雲寺
2008/7/20発行
兵庫県美方郡香
美町村岡区村岡
2365

「供養」と問われて

立場上、供養とは？、何を以って供養か？と聞かれることが多い訳ですが、何時もお茶を濁すような事を言っただけの場をしいでいる限りです。

とはいえ「供養」ということを考えるときに、立派な石塔や仏壇を準備しただけをが供養の本質か？と問われればいささか疑問を感じます。

天台宗を日本に伝えられた、比叡山延暦寺を開かれた宗祖・伝教大師（最澄）がご自分の死期が近いのを覚り、弟子達を枕元に呼び寄せてご遺言を託されました。

その冒頭で伝教大師は、「我が為に仏を作るなかれ」と、つまり、「私の亡き後、供養の為に仏さんを作ったり、写経等の行は必要ないと。今で言えば立派な石塔や仏壇は必要ないと言うところでしょうが？」

でも、弟子達にしてみれば、何を以って師匠である伝教大師のお心に応え、供養に通じることが出来るのか？と言う疑問が残ります。伝教大師は更に言葉をこつ続けられます。「我が志を述べよ」と。

平安時代始め、伝教大師は古い体質の奈良仏教に失望し、天台宗と云う新しい仏教宗派を起さされ、大師の一生は旧仏教勢力との対立や、天台宗を一人前の仏教宗派へと成長させることに費やした生涯でした。その道半ばで伝教大師は自らの死期が近いことを覚られた訳です。

伝教大師の思いとして、まだまだちよち歩きは、天台宗をしつかりとした一宗派に育てて欲しい、自分では成し遂げられなかつた夢を弟子達に託す、その一心であったかと思えます。その気持ち「我が志を述べよ」と言う言葉に凝縮されているのでしよう。

「我が為に仏を作るな」と

かれ、我が為に経を写すなかれ、我が志を述べよ」（爲我勿作佛。爲我勿寫經。述我志。）もつと端的に言い換えれば、「特別な供養など無用、それよりも私の志を多くの人々に伝えてくれ」となるのでしようか？余分なものをばつさり切り捨てたいさぎ良さを感ずります。



伝教大師ご廟「浄土院」

弘法大師と並び宗教的天才と称される伝教大師。どの方だからこそ、ここまで言い切れたのかも、しれません。天台宗の檀家である我々としても「供養」と言うことを考える時に、宗祖の言われた言葉である以上、重く受け取らねばならないようにも思えます。

父 母 の 背 中
我々には取って最も身近な師は父母のはずです。昔から言い古されてきた言葉に、「子は親の背を見て育つ」と言うのが有ります。子供はどんな親の背中を見て育つのでしょうか？ご自分のお父さんお母さんの背中を思い出してみてください。多分、何かにもたれ掛かつて休んでいる背中ではなく、家族のため、子供のために一生懸命何かを打ち込んでいる後姿を思い起こされる方が多いかと思えます。何処にでもある何気ない当たり前の姿かと思えますが、その姿からは自分の人生に正面から向かい合い、取り組まれてきた真剣さが漂います。そして、その姿を傍で一番見守ってきたのは子である我々自身です。

人が種をまき次代が実を収穫し、そして次の代のためにまた新たな種をまく。その繰り返しを無限に繰り返す。我々の今があるわけです。人の生き方もまた然りです。親の生き方から無言の内に多くを学んで来たのではないのでしょうか？
その当たり前の繰り返しが出来たして今の時代出来ているか？我々自身も次代の為に何か示せているか？疑問です。
時代が変わり生活の様式も日々変化の限りがありません。「親は親」、「子は子」と言う考えも有りますが、人生を大切に丁寧に生きると言うことは何時の時代も共通なことかと思えます。
真摯にひたむきに自らの人生と取り組んで来た父母や先祖の生き方を思い、そこから良い点を学び取り、誤りを正し、自分の人生の一部とする。そして、さらに自分の生き方を通し、次の世代に何か良い影響を与える。そんな生き様自体が我々にとつての「志」かも知れませんが、父母や先祖に対する供養の一つなのかも知れません。

平成20年度の棚経予定

日付	地域	日付	地域
8月7日 (木)	京阪神・和歌山	8月11日 (月)	野々上
			川上
8月8日 (金)	板仕野・宿	8月12日 (火)	新町・中西
			中西・西本町
8月9日 (土)	用野・鹿田	8月13日 (水)	東上・東中
			本町
8月10日 (日)	大屋・八鹿・豊岡	8月14日 (木)	殿町・水上・本町
	香住方面		

枠内上段は午前/下段は午後の予定。

棚経日程のお知らせ

本年度の棚経は、左記の日程と順番でお邪魔させて頂きたいと考えています。

枠内が二段に分かれていますところは、午前・午後の日程です。

予定通りにお邪魔できるように心がけますが、多少の時間の前後はご容赦ください。

左記の日程でご都合が悪い方は、ご連絡ください。ご都合に合うように考えさせていただきます。

(電話0796-98-1151)

お盆供養幡について

本年も「お盆供養幡」をお配り致します。昨年の単色のものから色鮮やかな幡に変更しました。(その代わり水溶性では有りません)竹ヒゴや細い棒・紐等をお仏壇の前に渡して、向かって右から

- ・多寶如来
- ・妙色身如来
- ・甘露王如来
- ・廣博身如来
- ・離怖畏如来

の順番で並べてお飾りください。お盆までお飾り頂き、お盆の後は、お墓などで送り火として燃やして頂ければと思います。



「お施餓鬼」ご案内

お盆恒例のお施餓鬼のご案内です。

期日：平成20年8月15日
(金)午前11時

会場：法雲寺本堂

対象：地元初盆各家・永代供養各家及び希望者

今年「初盆」を迎えられる各家、永代供養の各家以外の方々でも、ご自由にお参り頂けます。お時間が御座いましたら、是非お参りください。

ポライスカウト村岡のバザーご協力をお願いいたします。

活動資金捻出と新入スカウト勧誘をかねて、村岡商店街の夏祭り「ふるさと祭り」(8月2日実施予定)にてバザーを実施致しておりますが、ここ数年、スカウト数の減少に伴い、バザー提供品の減少に苦慮しております。

皆様の身の回りに、バザー提供品にふさわしい物が御座いましたら御協力よろしくお願い致します。

バザーの提供品

- ・未使用の日用品全般
- ・食品(賞味期限内)
- ・漫画単行本(古本)
- ・CD・DVD
- ・玩具(販売可能な物)

提供品の持込先
法雲寺へ持ち込み、又は「ご送付ください。」(7月中にお願い致します。)



9月・ビーバー隊発足
幼稚園から入隊できるビーバー隊が9月に発足します。現在、入隊希望者・指導協力者募集中です。